

ひまわりだより

No.302

2023年 7月



巾上ひまわり薬局 松本市巾上10-5 TEL 0263-35-4441
FAX 0263-37-5561
塩尻ひまわり薬局 塩尻市長畝230-3 TEL 0263-51-5311
FAX 0263-51-5322

定休日 日曜・祝日

これから本格的な猛暑がやってきますが、今のうちから体調を整えて乗り切りましょう。今回は類天疱瘡(るいてんぼうそう)についてです。

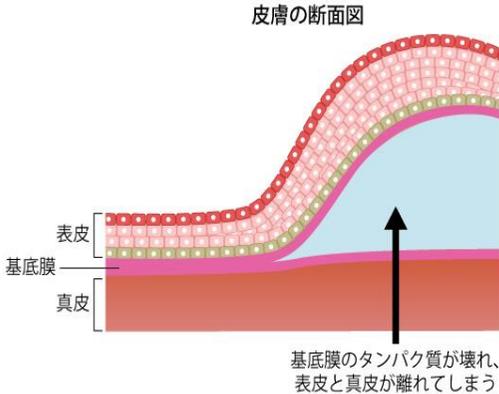


類天疱瘡とは

類天疱瘡とは、皮膚の表皮と真皮の境にある基底膜部のタンパクに対する自己抗体により、表皮下や粘膜に水疱(水ぶくれ)や びらん、紅斑(赤い皮疹)を生じる自己免疫性水疱症です。皮膚の炎症とともに広範囲にかゆみを伴う大きな水疱ができます。

診断は、皮膚のサンプルを顕微鏡で調べ(皮膚生検)、血液中の特定の抗体の沈着を確認することで下されます。





年齢的には 60 歳以上、特に 70～90 歳台の高齢者にみられます。まれに若年者および小児にもみられます。日本全国で 7000～8000 人ほどと推定されませんが、軽症の方を含めるとさらに多くの患者さんがいると予想されます。

天疱瘡と類天疱瘡の違い

天疱瘡と類天疱瘡はともに水疱、びらんができる自己免疫性疾患ですが、異なる病気です。天疱瘡の場合は、皮膚、口腔粘膜、食道などの粘膜の表面にある接着をつかさどるタンパク(デスモグレイン)に対して自己抗体が産生され表皮内に水疱ができます。天疱瘡は中高年に好発します。皮膚に水疱が出た場合は、破れやすい水疱であり、これが乾燥して葉状の鱗屑(りんせつ)となり、落屑(らくせつ)となってぼろぼろと剥がれ落ちるのが特徴です。一般的に、天疱瘡の方が重症度が高く、治療にも入院を要することが多いです。

原因

類天疱瘡の原因については、はっきりとはわかっていませんが、薬剤としてはフロセミド・スピロラクトンなどの利尿剤、サラゾスルファピリン、抗精神病薬、ペニシリン、ペニシラミン、エタネルセプトなどや、最近では糖尿病治療薬の DPP-4 阻害薬という種類の薬剤が原因になることがあることも分かってきました。

物理的原因(乳がんに対する放射線療法や紫外線など)や、皮膚疾患(乾癬(かんせん)、扁平苔癬(へんぺいたいせん)、一部の感染症など)、その他の病気(糖尿病、関節リウマチ、潰瘍性大腸炎、多発性硬化症など)なども皮膚への自己免疫による攻撃の誘因となる可能性があります。

症状

多くの場合、かゆみが類天疱瘡の最初の症状です。水疱は数年間みられないことがあります。水疱が現れる前に、盛り上がった大きな皮疹が生じることがあり、ときにじんま疹のように見えることもあります。やがて免疫系が皮膚を攻撃する抗体を作り出すようになり、その結果として皮膚に張りつめた大きな水疱ができ、強いかゆみを伴います。

水疱は、膝の裏側、わきの下、肘の内側、鼠径部(太ももの付け根)など、曲げることのできる部位によくできます。水疱は簡単に破れることはありませんが、破れた際にはびらんを残します。時間経過と共に比較的きれいに治ることも期待できますが、水疱が再発することも少なくありません。また、びらん部位が感染を起こすこともあるため注意が必要です。

治療

副腎皮質ステロイドホルモン(ステロイド)内服が治療の中心になります。限局性および軽症例では、ステロイド外用薬または、レクチゾール®内服のみでコントロール可能なこともあります。ロキシスロマイシンという抗生物質の内服療法またはテトラサイクリン(あるいはミノサイクリン)という抗生物質とニコチン酸アミドの併用内服療法の有効性が明らかになり、第一選択薬となりつつあります。



実際には、中等症までの類天疱瘡ではまずテトラサイクリン・ニコチン酸アミド療法を行い、1～2 週間経過を観察し効果が不十分な場合は、ステロイド内服を併用することが多いようです。ときに、他の治療薬が効かない重症例に対して、免疫系を抑制する薬が使用される場合があります。

日常生活での注意点

ステロイド内服に関しては、内服薬の自己判断による変更や中止は、急に水疱が再発することがありますので、主治医の指示を守りながら、薬の飲み忘れがないようにしましょう。

わずかな外力が当たる部位に水疱形成が生じることが多いので、外的な刺激を避けるため、絆創膏は直接貼らないようにして、全体をガーゼで包み、その上から絆創膏やネットで固定するようにします。手足、肘・膝をぶつけないようにし、擦れるような下着・服、きついベルトは避けます。感染予防のために患部を清潔に保つなどスキンケアが必要になることもあります。

治療には家族の理解・協力も必要です。
類天疱瘡は人にうつることはありません。
正しく病気や治療のことを伝えておきましょう。



❖ ひまわり薬局ではホームページも開設しています ❖

<http://www.himawari-ph.nagano.jp/>

こちらも是非、ご覧ください 😊